

# 新型コロナウイルス感染症対策 総括

2020年(令和2年)4月2日～2023年(令和5年)5月7日

2023年(令和5年)1 1 月作成

# 目次

I 趣旨	1	III 市民生活・社会経済活動への対応	
II 感染状況と対策		1 市民への生活支援と新たな日常への対応支援	18
1 感染者数等	2	(1) 生活困窮者	
(1) 感染者数の推移		(2) 妊婦,子育て世帯	
(2) 株の変遷と特性		(3) 高齢者・障がい者	
(3) 年代別内訳		(4) 外国人	
(4) 医療機関,介護施設,障がい施設のクラスター 発生件数の推移		(5) 大学生等	
2 国・県・市の主な動き	8	(6) 新たな日常への対応	
3 本部運営体制等	9	2 市内各種施設の対応	23
(1) 本部体制		(1) 学校等(学校,放課後児童クラブ)	
(2) 保健所体制		(2) 幼稚園,保育施設	
4 陽性者,感染の疑いがある者への対応	12	(3) 高齢者施設・障がい者施設	
5 医療提供体制の確保	15	3 経済活動等への支援	26
6 ワクチン接種	16	(1) 経済	
		(2) 農業・水産業等	
		(3) 観光	
		4 情報発信	29
		5 人権への配慮	31
		(参考資料) 新型コロナウイルスワクチン接種 実施体制・経過	32

# 趣旨

2019年(令和元年)12月に発生が公表され、2020年(令和2年)1月にWHOが緊急事態を宣言した新型コロナウイルス感染症は、日本国内で2020年(令和2年)1月15日以降感染者が確認され、本市では同年4月2日に初めて感染者を確認しました。

本市は、同年3月7日付で市長を本部長とする「福山市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、体制を強化しました。また、2023年(令和5年)5月7日までに同対策本部会議を36回開催し、情報共有や施策の決定を実施してきました。

新型コロナウイルス対策として、国においては緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、広島県においては県内の感染状況に応じた独自基準を設け、感染防止のための早期集中対策を行うなど感染対策が講じられてきました。

本市においても、感染状況を見極めながら様々な対策を講じてきましたが、2023年(令和5年)5月8日付けで感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更されたことを受けて、本市の感染症対策を振り返り、今後の新たな感染症への対応に役立てることを目的に本書を作成するものです。なお、感染症対策の中核組織である保健所の体制等については、本書とは別に「福山市健康危機対処計画」を作成し、新たな感染症健康危機に備えるものとします。

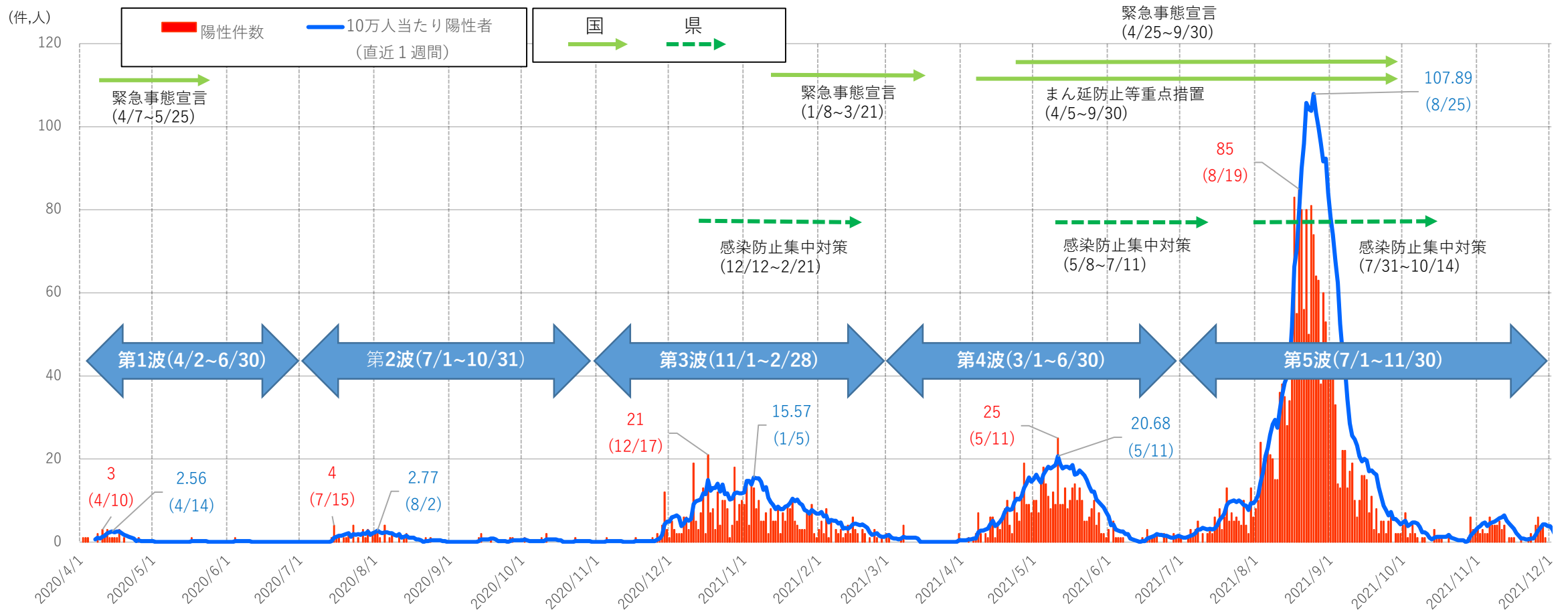
# II 感染状況と対策

## 1 感染者数等

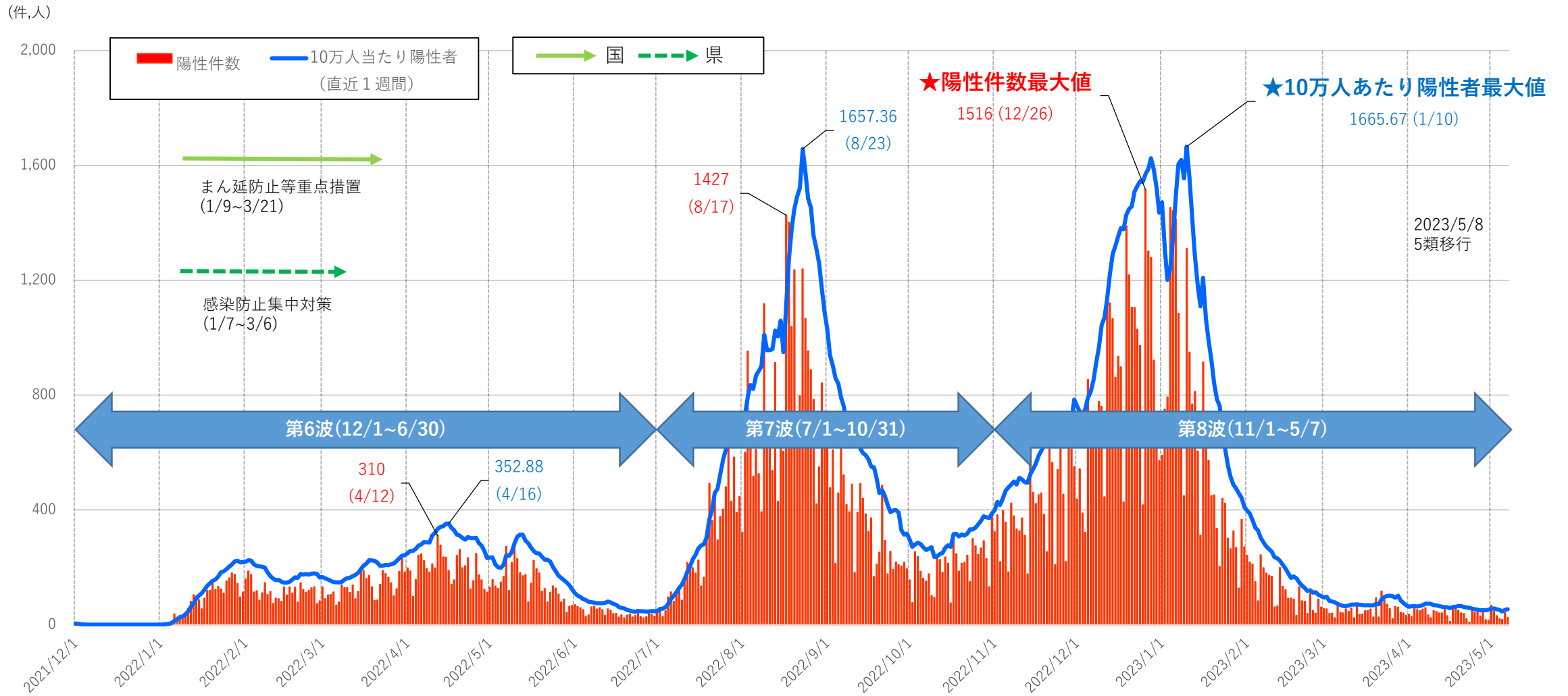
### (1) 感染者数の推移

- ・ 累計感染者数 138,900人 (2020年(令和2年)4月2日～2023年(令和5年)5月7日)
- ・ 月別の発生状況(第1波～第5波) ※最大値は陽性者数, 10万人あたり陽性者ともに第8波(次ページ参照)

※本資料で使用している各波の期間は、広島県の使用区分を参考としている(第1波の始まりのみ福山市の1例目の確認日にしている)



# ・月別の発生状況(第6波～第8波)



## (2) 株の変遷と特性

波	時期	株	特性
第1波	2020年4月～	従来株 ※新型コロナウイルス感染症発生時の株のこと	
第2波	2020年7月～		
第3波	2020年11月～		
第4波	2021年3月～	アルファ株	従来ウイルスに比べて感染力が強く,入院,重症化及び死亡のリスクが高い
第5波	2021年7月～	デルタ株	感染力が強く,感染した場合に入院に至るリスクも高い
第6波	2021年12月～	オミクロン株 BA.1,BA.2	重症化リスクは低い,感染力が非常に強い
第7波	2022年7月～	オミクロン株 BA.5	
第8波	2022年11月～	オミクロン株 BQ.1	

### その他の株

株	説明	国内発生	県内発生
ベータ株	2020年5月に南アフリカで見つかった変異株	2020年12月	なし
ガンマ株	2020年11月にブラジルで見つかった変異株	2021年1月	

### (3) 年代別内訳（感染の波ごと）

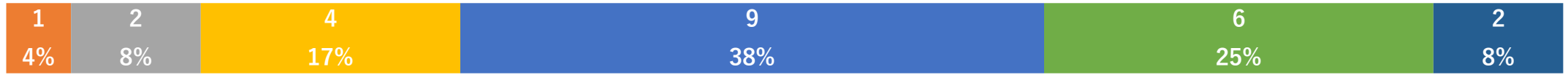
第1波から第8波のいずれの期間も、10代から40代までの感染率が高い傾向にあった。

第4波（アルファ株流行期）までは、10歳未満の割合が低かったが、第6波で大きな増加がみられ、全国的な傾向と一致している。

感染者が増大した第3波以降で見ると60代以上の高齢者の割合が減少傾向にあったが、第6波以降（オミクロン株流行以降）においては、高齢者の割合が増加した。

最大の感染規模となった第8波においては、10歳未満～50代のどの世代においてもほぼ同程度の割合で感染者が発生した。

第1波(2020年4月2日～6月30日) 感染者数24人



第2波(2020年7月1日～10月31日) 感染者数56人



第3波(2020年11月1日～2021年2月28日) 感染者数504人



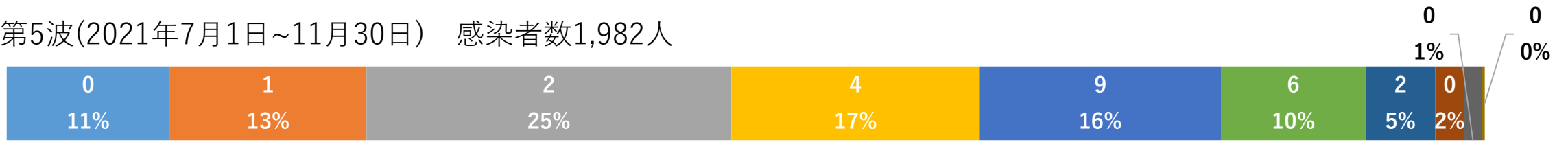
第4波(2021年3月1日～6月30日) 感染者数482人



上段：実数  
下段：割合 (%)

■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代以上

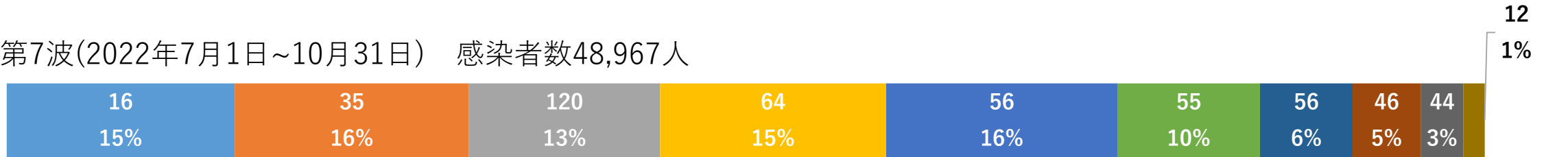
第5波(2021年7月1日~11月30日) 感染者数1,982人



第6波(2021年12月1日~2022年6月30日) 感染者数21,717人



第7波(2022年7月1日~10月31日) 感染者数48,967人



第8波(2022年11月1日~2023年5月7日) 感染者数65,167人



上段：実数  
下段：割合(%)

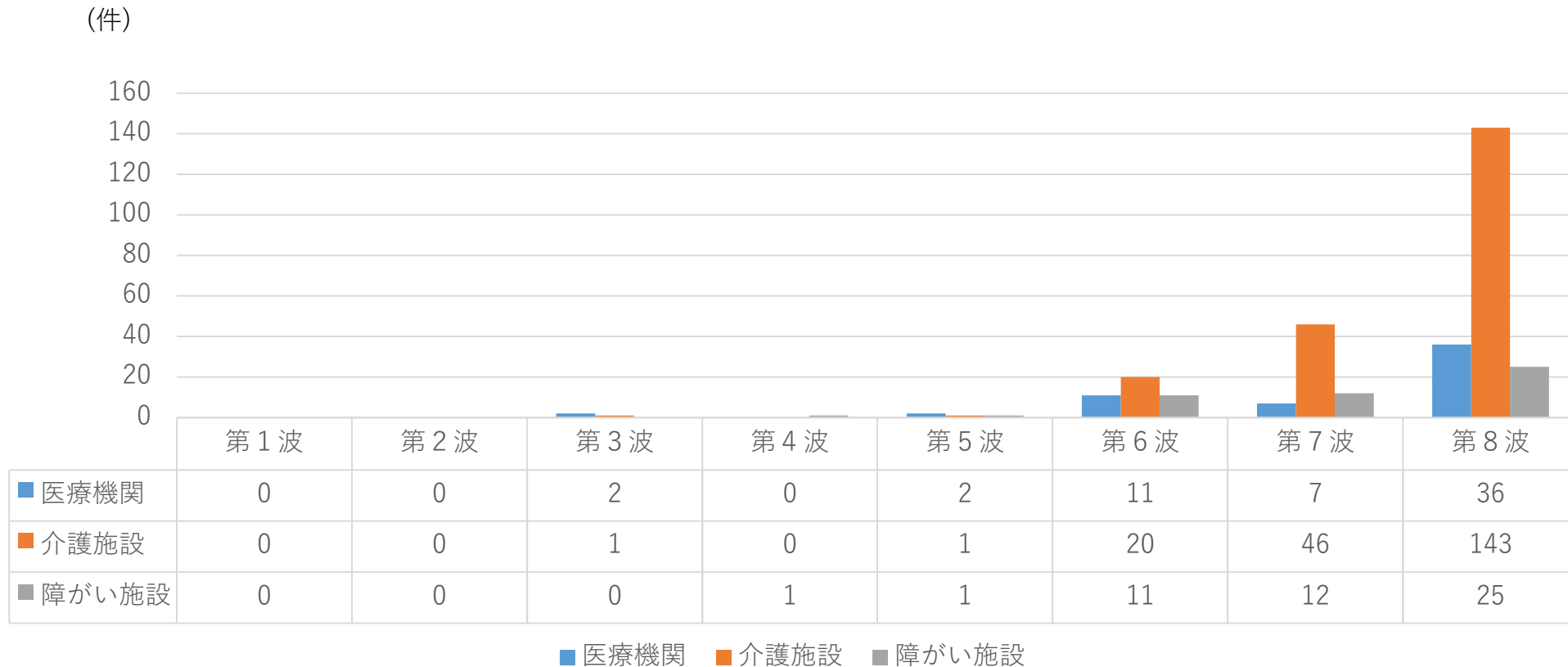
■ 10歳未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代以上



## (4) 医療機関,介護施設,障がい施設のクラスター発生件数の推移

感染力が強いオミクロン株が主流となった第6波からクラスター発生件数が顕著になった。

第6波以降に感染者のうち高齢者の割合が増加した要因として、医療機関,介護施設,障がい施設でのクラスター発生件数の増加が一因となった可能性がある。



## 2 国・県・市の主な動き

年	月日	国	月日	県	月日	市
2020	1/15	日本国内で1例目の感染を確認 新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令公布(2/1施行) 対策本部会議設置,第1回会議開催 第1回専門家会議 緊急事態宣言(~5/25)※広島県も同期間	1/29	特別警戒本部設置,第1回会議開催 県内(広島市)で1例目の感染を確認 特措法に基づく広島県対策本部の設置 緊急事態措置等制定(~5/31) 広島県の対処方針制定 新型コロナ感染拡大防止集中対策(12/12~2/21)※福山市も同期間	1/29	警戒本部設置 第1回会議開催 保健所の対応等を決定 特別警戒本部設置,第1回特別警戒本部会議 市主催行事の対応等を決定 新型コロナウイルス感染症対策本部設置,第1回会議開催 市主催行事の対応等決定 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策の決定 市内で1例目の感染を確認
	1/28		3/6		1/30	
2021	1/30	緊急事態宣言(1/8~3/21) ※広島県は対象外 まん延防止等重点措置(4/5~9/30)※広島県は8/20~8/26 緊急事態宣言(4/25~9/30) ※広島県は5/16~6/20, 8/27~9/30	3/26	新型コロナ感染拡大防止集中対策(5/8~7/11)※福山市も同期間 新型コロナ感染拡大防止のための早期集中対策(7/31~8/26)※福山市(8/6~8/26) 緊急事態措置に伴う対策の強化(8/27~9/30) 緊急事態措置の終了後の集中対策(10/1~10/14)※福山市は該当期間なし	2/24	GWにおける感染拡大防止対策(4/29~5/16) 感染防止緊急対処(5/7~6/6) 感染急拡大に伴う対策強化(8/9~9/30)
	2/16		4/18		3/7	
	4/7		5/15		3/14	
	4/23		12/11		4/2	
2022	1/7	まん延防止等重点措置(1/9~3/21) ※広島県は1/9~3/6	1/7	まん延防止等重点措置に伴う集中対策(1/7~3/6)※福山市も同期間 医療非常事態警報	1/7	まん延防止等重点措置に伴う対策強化(1/9~3/6)
			12/16			
2023	1/27	新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけ5/8から5類感染症に変更を決定 5類移行に伴い「新型コロナウイルス感染症対策本部」,「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」等の廃止決定	4/25	5類移行に伴い政府の対策本部が廃止されるため,「新型コロナウイルス感染症広島県対策本部」,「対処方針」の廃止決定	5/8	新型コロナウイルス感染症対策本部の廃止

# 3 本部運営体制等

## (1) 本部体制

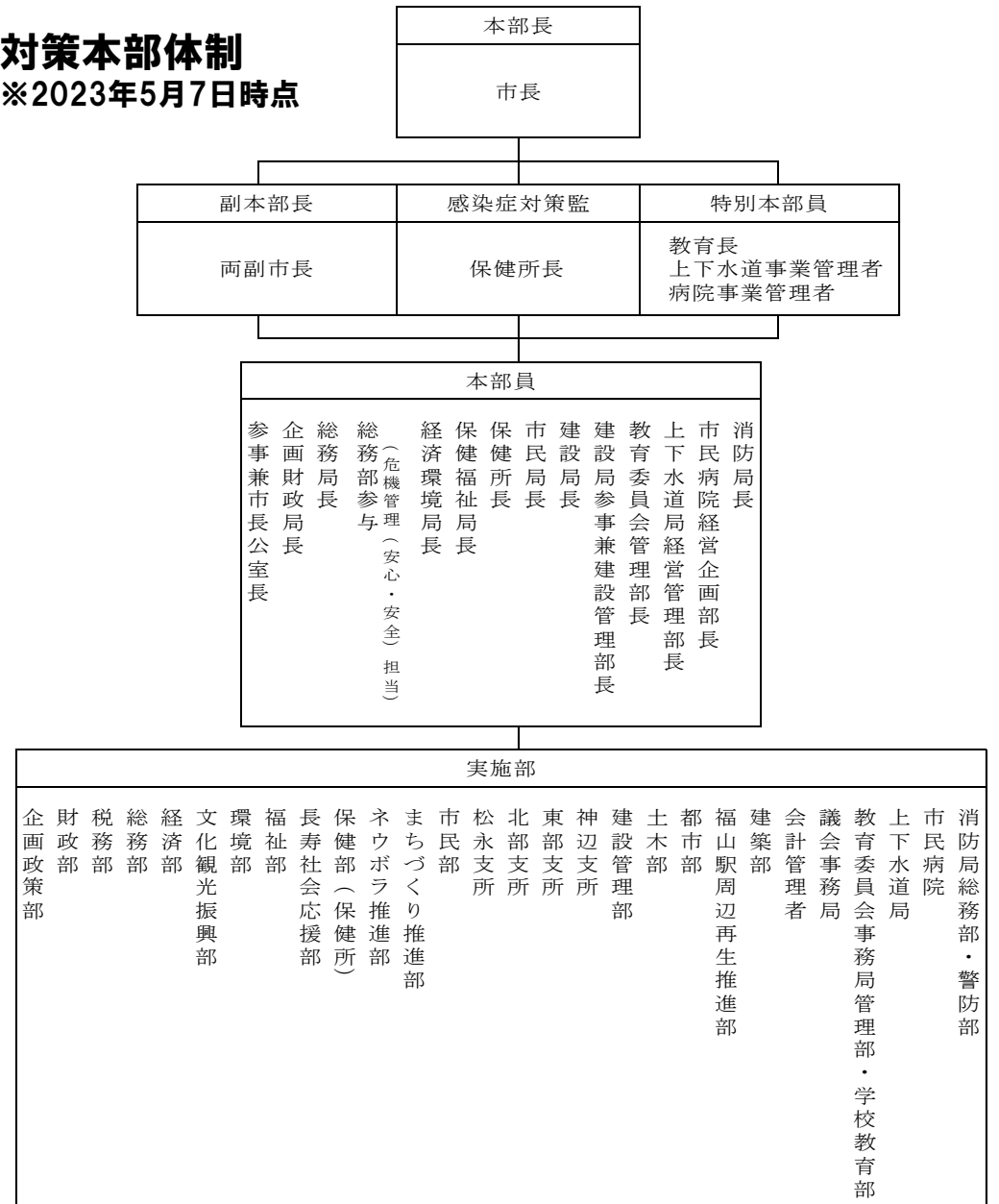
新型コロナウイルス感染症に対して、市内の感染状況や国の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令等に合わせ、対策本部会議を開催

国・県の動向や本市の感染状況等を全庁で共有し、市主催イベントの延期や中止、公共施設の閉館等感染拡大防止対策の実施を決定

設置日	本市の体制	本部長	開催実績
2020年1月29日	福山市警戒本部	保健所長	全1回 (2020年1月30日)
2020年2月24日	福山市新型コロナウイルス感染症特別警戒本部	副市長	全4回 (2020年2月24日～3月5日)
2020年3月7日	福山市新型コロナウイルス感染症対策本部	市長	全36回 (2020年3月7日～2022年3月4日)

## 対策本部体制

※2023年5月7日時点



## (2) 保健所体制

これまでに経験したことのない状況の中で、業務の体制づくりや、業務委託や全庁体制の応援人員の活用にも時間を要した。感染拡大とともに、保健所の業務負担が大きくなり疫学調査の即時実施が難しくなるなどの問題が生じたため、保健師と事務職員の業務分担を見直し、民間企業に一部の業務をするなどして対応した。

(保健所体制の主な変遷)

波	時期	内容
第3波	2021年1月	ワクチン接種対策室を設置（同年4月にはワクチン接種実施本部に移行）
第5波	2021年9月	全庁からの応援体制の開始
第6波	2022年1月	すこやかセンター東館1階の1室を専用スペースとして確保(通称「コロナルーム」)
	2022年4月	保健予防課内に「新型コロナ対策担当」を設置
	2022年6月	事務補助業務等の委託開始
第7波	2022年9月	保健師・看護師業務の委託開始

(保健所職員体制の整備)

種別	感染症対応	ワクチン対応	
職員数の調整 (保健所内の 配置)	(2022年度の状況) 保健予防課内に「新型コロナ対策担当」を設置 保健師 3人 事務 1人	(2021年度の状況) ワクチン接種実施本部を設置 (兼務職員による増員) 主幹 3人(専2,兼1) 専門員 1人(兼(保健師)1) 次長 1人(兼1) 調整員 1人(兼1) 職員 11人(専5,兼6) 計 17人	
	会計年度任用職員	7人(看護職6人,事務1人)	4人
保健所への 応援職員 (第6波)	保健師	7人	-
	事務	19人	-
	移送	4人	-

【応援体制の目安】(第6波)

1日の 新規陽性者数	主事等	
	移送	事務
4人以上	2人	-
12人以上	4人	5人
20人以上	4人	7人
30人以上	4人	12人
64人以上	4人	14人

(業務委託)(第7・8波)

業務種別	委託業務内容	委託期間
保健師・看護師対応業務	陽性者発生時から療養解除に至るまでの,医療職で対応する業務についての委託 (陽性者への疫学調査・療養説明,受診・入院調整,自宅・施設療養者への健康観察業務・問合せ対応業務 等)	2022年9月～
事務補助等の業務	陽性者発生時から療養解除,その後の療養期間に関する書類送付に至るまでの,看護職で対応する以外の業務 (陽性者への基礎情報等の聞取り,調査票入力,HER-SYSへの入力,保健師・看護師の補助業務,陽性者リスト・検査台帳等の作成,就業制限に関する書類の作成・封入,庶務業務 等)	派遣 2022年4月～ 委託 2022年6月～

## 4 陽性者,感染の疑いがある者への対応

### (1) 行政検査の実施 (PCR検査) 48,390件

- ・ 2020年(令和2年)1月から保健所と帰国者接触者外来である医療機関において検体採取し,検査は広島県立総合技術研究所保健環境センターや保健所で実施
- ・ 検査方法の確立により,民間での検査体制整備が進み,感染者増加による検査対象者の急増対応として,帰国者接触者外来の検査枠増加,2020年(令和2年)4月下旬以降は民間検査センターへの委託を実施

### (2) 積極的疫学調査 78,478件

- ・ 陽性者へ症状,既往歴,行動歴,家族の状況等の聞き取り調査を実施
- ・ 感染拡大により対応困難となり,聴取内容を段階的に削減して対応
- ・ 陽性者全員に対して調査を行っていたが,第7波においては高齢者や持病を抱えた方など高リスク者に限定

### (3) 入院調整

- ・ コロナ患者の重症度に応じて,入院が必要と判断された患者については,広島県新型コロナウイルス感染症患者受入調整本部へ調整を依頼
- ・ 受入調整本部がコロナ受入れ医療機関と調整のうえ,入院先を決定

### (4) 患者移送 5,752人(民間委託を含む),移送用車両の購入 5台

- ・ 主に陽性者を自宅から医療機関または宿泊療養施設へ移送
- ・ 重症者の移送は協定により,消防局が対応
- ・ その他の移送は当初保健所が行い,2020年(令和2年)10月にタクシー会社に委託

### (5) 検査体制の充実(無料検査) ※各期間には,感染収束期等の閉鎖期間を含む

- ・ 福山PCRセンター(2020年(令和2年)12月30日~2023年(令和5年)5月7日),  
福山駅前PCR臨時スポット(2021年(令和3年)4月23日~2023年(令和5年)3月12日)
- ・ 登録薬局等での検査体制の確保(2021年(令和3年)4月16日~2023年(令和5年)5月7日)

## (6) 健康観察及び就業制限通知

- ・ 毎日、陽性者の体調を確認、健康相談を実施  
フォローアップセンター、自宅療養者相談センター、My HER-SYS、自動架電を併用
- ・ 受診・入院調整、輸液センターへの調整
- ・ 自宅療養者にパルスオキシメーターを配付(対象者：65歳以上の高齢者等)
- ・ 就業制限通知、就業制限非該当確認通知(請求者のみ)、療養証明書(請求者のみ)を送付
- ・ 就業制限の解除を伝達

## (7) 接触者調査

- ・ 陽性者の行動歴から感染可能期間に接触した人を特定

## (8) 濃厚接触者の健康観察

- ・ 濃厚接触者の潜伏期間の健康観察及び行政検査の実施、必要時受診調整

## (9) 施設調査・助言指導

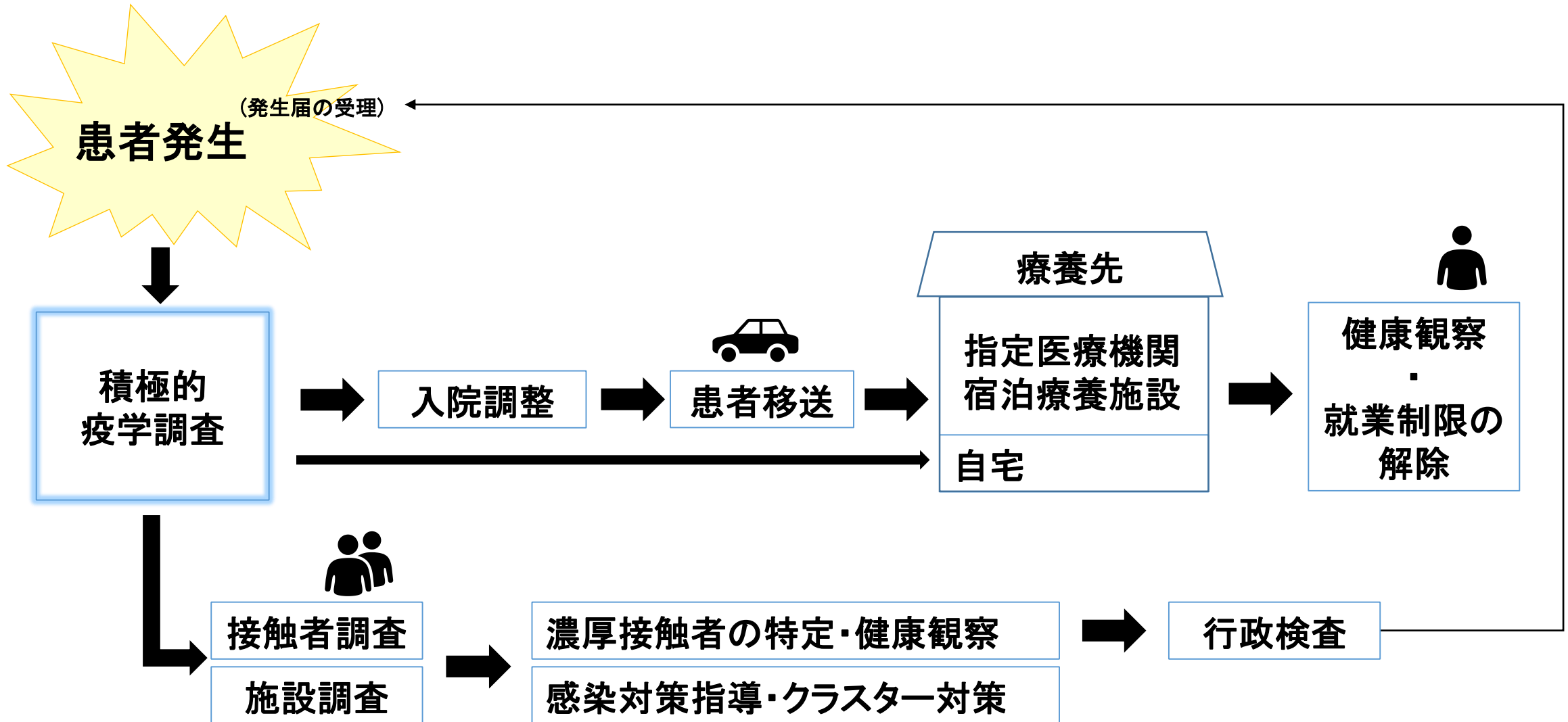
- ・ 早期に囲い込みをし感染拡大を防ぐため、陽性者の所属や感染可能期間に利用した施設の接触状況を確認し、濃厚接触者の特定・検査を実施
- ・ ハイリスク施設に対し、感染拡大を最小限とするため発生初期に現地や電話で感染対策について指導を実施
- ・ 感染対策について助言指導を実施
- ・ クラスタ発生施設へ「広島県感染症医療支援チーム」の派遣 81件

### 「広島県感染症医療支援チーム」

国内未知の感染症が県内で発生した場合に迅速かつ的確に対応することを目的に、広島県と協定を締結した医療機関に所属する感染対策の専門知識を有する医療従事者で構成されたチーム

新型コロナウイルス感染症については2020年(令和2年)4月から派遣開始

# (参考) 感染者が発生した際の業務フロー





## 5 医療提供体制の確保

### (1) 病床の確保

最大確保数：170床 2023年(令和5年)1月16日～31日 最大利用率：76.9% 2022年(令和4年)3月4日

### (2) 宿泊療養施設の確保について

最大確保数：4施設 327室 2021年(令和3年)9月4日～2023年(令和5年)5月7日  
最大利用率：113.9% 2021年(令和3年)8月19日

### (3) 輸液センター

宿泊療養施設の1フロアを活用し、東部輸液センターを設置

受入可能人数：8人(男女各4人) 延べ利用人数：192人

開設期間：2021年(令和3年)12月20日～2023年(令和5年)5月7日(※2023年2月15日から休止)

### (4) 人工呼吸器の導入

導入数：7台(福山市民病院へ国の交付金や寄附を活用し導入)

### (5) 新型コロナウイルス感染症に係る電話・オンライン診療実施医療機関

最大施設数：39施設(うち初診対応可 24施設) ※2023年5月7日時点

### (6) 診療・検査医療機関

最大施設数：220施設 ※2023年5月7日時点

### (7) 往診可能医療機関

最大施設数：17施設 最大確保期間：2022年(令和4年)6月12日～2022年(令和4年)7月21日

### (8) 後方医療機関の支援

感染症指定医療機関等から新型コロナウイルス感染症の治療終了後の患者の転院を受け入れた場合に支援

延べ補助件数：116件 適用期間：2020年(令和2年)12月1日～2023年(令和5年)5月7日

### (9) 二次救急医療体制

空床確保輪番病院の設定

## 6 ワクチン接種

事業開始当初は、報道が先行したため、市民からの接種券発送や集団接種会場の予約、個別接種医療機関からの問い合わせなど、電話の集中に苦慮しながらの実施となった。ワクチン供給の不安定さに加え、種類の増加や事業の長期化による保管場所の拡充、集団接種の会場や出務医療従事者の継続確保など、課題を克服しながら3年間にわたり接種体制を維持していった。

### (1) 概要

目的：新型コロナウイルス感染症の感染・発症・重症化予防等  
 予防接種法に基づく特例臨時接種（全額公費負担）

対象：希望する市民

### (2) 実施期間

2021年(令和3年)2月17日～2024年(令和6年)3月31日(終了予定)

### (3) 接種体制

個別接種 市内最大232医療機関

集団接種 市内13会場

職域接種 市内8団体

これまでに開設した集団接種会場	
市集団接種会場	福山市旧体育館
	西部市民センター
	北部市民センター
	東部民センター
	かんなべ市民交流センター
	しんいち市民交流センター
	沼隈サンパル
	エフピコアリーナふくやま
	中国新聞備後本社ビル
	広島県立ふくやま産業交流館(ビッグ・ローズ)
市大規模接種会場	福山労働会館みやび
	シャープ福山スポーツセンター
	福山大学社会連携推進センター(宮地記念館)
県大規模接種会場	広島県立ふくやま産業交流館(ビッグ・ローズ)

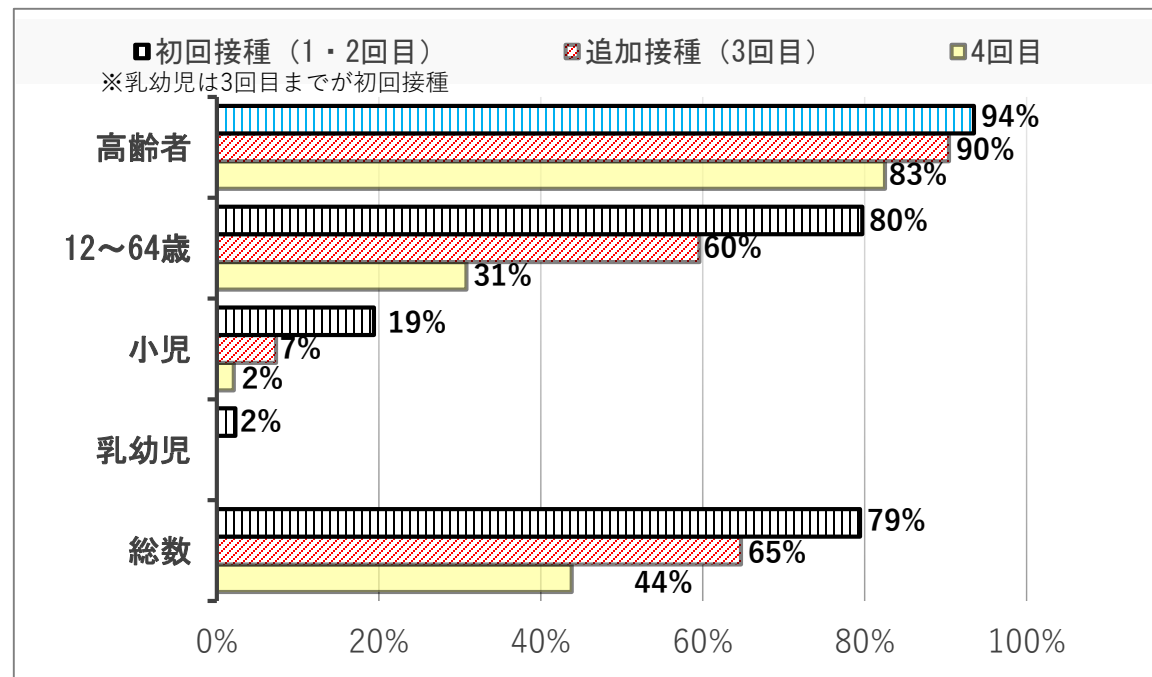
### (4) 周知・啓発・支援

- ・接種券の個別宛名への郵送や1・2回目未接種者勧奨はがきによる周知
- ・広報, 市ホームページ, 公式SNS, テレビ・ラジオ出演, ポスター掲出など多媒体での情報発信, 啓発
- ・交流館(公民館, コミュニティセンター・館)での集団接種会場Web予約支援
- ・高齢者・障がい者の接種場所への交通費(タクシー代)補助, 大規模接種会場へのシャトルバス運行による移動支援

## (5) 接種状況 (2023年(令和5年)10月31日時点)

※ただし「人口」の項目は、2023年(令和5年)1月1日現在

区分	高齢者	12~64歳	小児	乳幼児	年齢不明	
人口	134,054	280,436	28,894	17,300	—	
接種回数	1回目	125,569	224,511	5,704	561	11,387
	2回目	125,281	223,500	5,592	523	11,072
	3回目	121,135	167,113	2,106	405	7,262
	4回目	110,580	86,278	595	60	4,059
	5回目	90,819	24,284	152	0	1,726
	6回目	66,852	6,002	0	0	410
	7回目	33,285	1,136	0	0	8
	計	673,521	732,824	14,149	1,549	35,924
接種率	1回目	93.7%	80.1%	19.7%	3.2%	—
	2回目	93.5%	79.7%	19.4%	3.0%	—
	3回目	90.4%	59.6%	7.3%	2.3%	—
	4回目	82.5%	30.8%	2.1%	0.3%	—



## (6) 年齢層別の接種率

(2023年(令和5年)10月31日現在)

※ただし「令和4年秋」の項目は2023年(令和5年)5月7日、「令和5年春」は同年9月19日現在 ※「令和5年春」の64歳未満は、基礎疾患を有する方等のみが接種対象者

年齢層	初回接種	3回目以上	令和4年秋	令和5年春	令和5年秋
高齢者	93.5%	90.4%	75.3%	55.7%	30.1%
12~64歳	79.7%	59.6%	33.4%	2.1%	5.8%
小児	19.4%	7.3%	0.1%		0.9%
乳幼児	2.3%				0.5%

# III 市民生活・社会経済活動への対応

## 1 市民への生活支援と新たな日常への対応支援

生活困窮者・子育て世帯・高齢者・学生などに対して、給付金や物資の配付等必要な支援を行ったが、国の給付金などは早期支給が求められたため、1つの給付に係る事務量の負担が大きく、準備から支給完了まで多くの労力と作業が必要であった。

感染症対策のための非接触の推進等の新たな生活様式への対応を行った。

### (1) 生活困窮者

事業名(主なもの)	年度	対象	支給額	実績
住民税非課税世帯等臨時特別給付金	2021 ~2022	住民税非課税世帯等	10万円/世帯	56,178世帯 5,722,493千円
新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金	2021 ~2022	一定の要件を満たす 生活困窮者	単身世帯:6万円 2人世帯:8万円 3人以上世帯:10万円	490件 115,252千円
傷病手当金 (国民健康保険及び後期高齢者医療制度)	2020 ~2023	療養のため労務に服することができなかった期間に給与を受け取れなかった被保険者	対象期間1日につき、 直近3か月の給与日額の2/3	263件 9,375千円 (2023年10月末時点)
国民健康保険税の減免	2019 ~2022	世帯の主たる生計維持者の収入が減少した等一定の要件を満たす世帯	<減免割合> 20%~100%	1,516件 199,517千円 (2023年10月末時点)
後期高齢者医療保険料の減免	2019 ~2022	世帯の主たる生計維持者の収入が減少した等一定の要件を満たす世帯	<減免割合> 20%~100%	114件 5,710千円 (2023年10月末時点)

## (2) 妊婦,子育て世帯

事業名(主なもの)	年度	対象	支給額	実績
子育て世帯臨時特別給付金	2020	中学生までの子どもがいる世帯	1万円/児童1人	36,734世帯 642,881千円
	2021	児童手当の支給対象児童を養育する世帯	10万円/児童1人	42,171世帯 7,348,221千円
出生児特別定額給付金	2020	2020年4月28日以降に出生した児童	10万円/児童1人	2,890人 289,000千円
ひとり親世帯臨時特別給付金	2020	児童扶養手当受給者等の世帯	5万円/世帯 3万円(第2子から)	4,668世帯 490,983千円
ひとり親家庭緊急応援金	2020	児童扶養手当受給者等の世帯	3万円/世帯	4,224世帯 126,720千円
子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯, その他子育て世帯)	2021 ~2022	児童扶養手当受給者等の世帯	5万円/児童1人	14,215世帯 1,225,080千円
出産育児特別応援金	2021 ~2022	R3. 4. 2以降に出生した児童	5万円/児童1人	3,388人 168,485千円

### (3) 高齢者・障がい者

対象	事業名(主なもの)	年度	概要	実績
高齢者	配食サービスの拡充	2020 ~2022	要支援・要介護認定者等を対象に, 配食サービスを5食から7食に拡充	1,276人 25,811千円
	介護用品券の配布	2020	介護事業所の休業等によって, 在宅で介護を受ける高齢者に配布	2,721件 28,473千円
	ワクチンの移動支援	2021 ~2022	75歳以上の高齢者に対し, 片道上限1,000円を補助	33,797件 28,764千円
障がい者	障がい者等への緊急応援金	2020	日常生活に影響を受けやすい重度の障がい者, 医療的ケアを要する方の世帯の生活支援のため応援金を支給(1.5~5.3万円/人)	1,913件 70,159千円
	配食サービスの拡充	2020 ~2022	配食サービスを週5食から週7食に拡充	156人 2,831千円
	ワクチンの移動支援	2021 ~2022	障がい者手帳を所持している方に対し, 片道上限1,000円を補助	2,732件 2,213千円

## (4) 外国人

日本語が不自由な方も多く、新型コロナウイルス感染症に関する情報や、給付金をはじめとする支援策等に係る申請方法の情報が届きづらい状況にある中で、各種制度、注意喚起などの情報について、やさしい日本語や複数の外国語を用いて市ホームページ等で周知を図るとともに、外国語での相談窓口「福山市外国人相談窓口」等を紹介することで不安、疑問の解消などを図った

## (5) 大学生等

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
ふるさと福山学生応援パック	2020 ～2021	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出を自粛し、アルバイトも困難な状況が長期間続く学生を応援するため、食料品や衛生用品などを詰め合わせた「ふるさと福山学生応援パック」を贈り、地元の愛着感向上や地元就職・定着に繋げるもの	4,703件 18,128千円
コロナに負けるな！ 門出応援プロジェクト	2020	洋服の青山などを運営する青山商事株式会社と、就職や進学などの新たな門出にあたり、スーツ等の購入に利用できるクーポンを発行 (25,000円(税込)以上の用品購入の際に利用できる20,000円分のクーポン)	2,648件 26,480千円

## (6) 新たな日常への対応

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
納付書を用いたスマートフォン決済の導入	2020	感染拡大防止をはかるため、非接触でのスマートフォン決済に対応できるようにシステムを改修	1,765千円
窓口収納におけるキャッシュレス決済の導入	2020	感染拡大防止をはかるため、非接触決済に対応できる機器を導入	2,272千円
都市計画情報や道路台帳情報等のWEB公開	2020, 2022	非接触でのサービスの提供のため、都市計画情報や道路台帳情報等をWEBで公開	17,671千円
デジタルサービスの利用講習会	2021, 2022	デジタル機器に不慣れな人を対象に、スマートフォンの使い方やデジタル化された行政サービスの利用方法に関する講習会を実施	170回 7,299千円
電子図書貸出サービス試行実施	2020～2022	非接触でのサービス提供のため、インターネット上で、貸出・返却・予約が可能なサービスを提供	14,167千円
高齢者デジタル活用支援事業	2022	デジタル機器に不慣れな高齢者を対象に、購入から利用まで一体的に支援 購入補助10,000円を上限	7,946件 128,353千円



## 2 市内各種施設の対応

### (1) 学校等(学校,放課後児童クラブ)

行事等を中止・縮小したため,集団での体験的な活動の機会や,保護者や地域の方に学校や子どもたちの様子を見ていただく機会が減った。また,オンライン授業を実施し,学びを継続することはできたが,話し合いやグループ学習など協働的な学びが十分にできなかった。

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
小中学校等児童生徒用学習端末整備	2020	学校休業時の学びの保障のため,小中学校等の児童生徒へ,1人1台の学習用端末を整備した。	39,000台 1,820,280千円
学校保健特別対策事業費補助金	2020	各学校が感染症対策等を徹底しながら,児童及び生徒の学習保障に係る取組を実施するにあたり,校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう必要な予算を配分するもの	152,082千円
学校臨時休業対策費補助金	2020	一斉臨時休業に伴い,急遽注文がキャンセルとなった学校給食用物資納入業者へ,加工賃部分の補填を行った(市→福山市学校給食会→業者)	53業者 33,123千円
小中学校等給水蛇口の改修	2022	感染予防及び感染拡大防止のため,小中学校等の手洗い水栓を自閉式水栓に改修した	97校 87,756千円
放課後児童クラブの衛生環境改善	2021	感染拡大防止対策のため,直営の放課後児童クラブの手洗い用水栓の自閉水栓への改修を実施	28施設 3,009千円
衛生設備等整備事業費補助金	2022	感染拡大防止対策のため,委託法人の放課後児童クラブの手洗い用水栓の自閉水栓への改修のための費用を補助	1施設 500千円
放課後児童クラブ利用料減免	2020 ~2023	新型コロナウイルス感染症に感染,濃厚接触者になるなど一定条件を満たした場合の利用料を減免	—

## (2) 幼稚園,保育施設

保育の性質上,3密回避が困難であり,感染拡大防止策が講じにくかった。また,コロナによる職員不足の中で,夜間・休日対応,保護者への個別対応する職員に大きな負担がかかった。

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
私立保育施設の衛生用品購入補助	2020 ~2022	私立保育施設が感染予防・感染拡大防止のために必要となる衛生用品の購入にかかる費用を補助	342施設(延べ) 117,340千円
公立保育施設の衛生環境改善	2021 ~2022	感染拡大防止対策のため,保育室,事務室の手洗い場自動水栓化など公立保育施設及び公立幼稚園の衛生環境を改善	47施設 118,406千円
私立保育施設の衛生環境改善補助	2022	感染拡大防止対策のため,換気設備整備や非接触型蛇口設置など私立保育施設の衛生環境改善にかかる費用を補助	48施設 48,379千円
保育料の減免	2020 ~2023	新型コロナウイルス感染による登園自粛期間中の保育料を減免	—

### (3) 高齢者施設・障がい福祉施設

重症化リスクの高い方が多い高齢者施設・障がい福祉施設については、感染予防、感染拡大防止に対応するための職員負担及び経済的負担が大きかった。

施設種別	事業名(主なもの)	年度	概要	実績
高齢者	介護サービス継続支援事業費補助	2020 ～2022	新型コロナウイルス感染症の感染の機会を減らしつつ、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常のサービス提供では想定されない、かかり増し経費等に対して支援	136件 112,335千円
	特別養護老人ホーム等施設建設費補助	2020 ～2022	簡易陰圧装置の設置に係る経費支援と、換気設備の設置に係る経費の支援	13件 29,561千円
障がい者	障がい福祉サービス継続支援事業費補助	2020 ～2022	障がい福祉サービス事業所等に感染対策に係る通常のサービス提供時には想定されないかかりまし経費等を補助	111所 21,340千円
	多床室の個室化改修費補助	2020	短期入所者と入所利用者の分離及び感染者が発生した場合の隔離を行うために個室化を行う経費を補助	1施設 5,449千円
	生産性向上支援事業費補助	2021 ～2022	感染拡大防止と生産性向上のため、ICTを導入する障がい福祉サービス事業所等の必要経費の補助	11施設 8,848千円
高齢者・障がい者	介護・障がい福祉従事者宿泊費助成金	2020 ～2022	新型コロナに感染した利用者及びその疑いのある利用者等の対応を行うことで、帰宅困難な介護・障がい福祉従事者に対し、宿泊に要した費用の一部を助成 上限6,000円/日	27人 830千円

### 3 経済活動等への支援

感染症下における、市民の消費喚起など経済対策と感染対策の両立はバランスが非常に難しく、施策を打ち出すタイミングの見極めに苦慮した。

#### (1) 経済

#### 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者の事業継続の支援

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
広島県感染拡大防止協力支援金	2020	県の休業要請などに全面的に協力し、雇用維持に最大限努力した中小事業者や個人事業主への支援金	3,080件 218,581千円
衛生用品整備費補助	2020	交通事業者が調達する衛生用品等の購入や設置等に要する経費を補助	94件 37,834千円
雇用調整助成金活用支援事業費補助	2020 ～2021	社会保険労務士に依頼して雇用調整助成金を申請する際の経費を支援	906件 81,565千円
特定離職者雇用促進補助	2020 ～2021	感染症の影響により離職した人を新規雇用する企業の補助	73件 40,325千円
繊維関連事業者応援金	2021	県の要請等の影響により、売上が3割以上減少した事業者へ30万円を支給	313件 93,900千円
中小事業者売上回復応援金	2021 ～2022	売上が3割以上減少した中小事業者への応援金	3,291件 1,027,927千円
タクシー事業者運行支援事業費補助	2020 ～2022	感染症の流行により、収益が悪化したタクシー事業者に対する補助 (2020年度：75,000円/台, 2022年度：63,000円/台)	156件 121,815千円
地方バス路線運行維持対策事業費補助	2020 ～2022	感染症の流行により、収益が悪化した路線バス事業者に対する支援として、補助要件を緩和	—
ガイドライン研修(eラーニング)支援事業	2020 ～2022	市内事業所を対象に「福山市新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(職場編)」の解説をしたインターネット講習を実施	修了証発行件数 6,754件

## コロナ禍による社会変容 (withコロナ) に対応し、将来を見据えた事業継続の支援

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
テイクアウト・デリバリー参入応援事業補助金	2020	市内事業者の「テイクアウト・デリバリー」サービスの新規開始のための必要経費の補助	111件 30,051千円
感染症対策設備・衛生用品導入支援事業補助金	2020 ～2021	新型コロナの拡大防止のために行った設備及び衛生用品導入の経費の一部を補助	3,480件 595,702千円
福山市消費喚起事業	2020 ～2021	市内の対象店舗で対象のキャッシュレス決済を利用して支払った場合にポイントを付与	消費喚起額 6,546,140千円
生産性向上支援事業費補助	2022	市内中小事業者が生産性向上を図るための設備投資に係る経費の一部を補助	1,076件 494,889千円

## (2) 農業・水産業等

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
生産性向上・販路拡大支援事業費補助(農業)	2020	農業・漁業団体などへ生産性の向上や販路拡大の事業のための新たな取組に係る費用の補助	6法人 24,827千円
生産性向上・販路拡大支援事業費補助(水産業)	2020		2法人 11,926千円
漁業用燃油価格高騰対策事業費補助	2022	原油価格高騰等の影響を受ける漁業者へ高騰額の一部を補助	179件 12,103千円

### (3) 観光

事業名(主なもの)	年度	概要	実績
宿泊施設衛生対策事業費補助	2020	新型コロナの感染拡大防止に係る経費補助	43件 54,274千円
観光プレミアムクーポン発行事業	2020 ~2022	観光事業者への支援及び観光消費の喚起を目的としたクーポンの配布	宿泊割引 12,679人泊 クーポン利用 78,779枚 119,464千円
観光関連事業者等応援金	2021	コロナの影響で売上が3割以上減少した観光関連事業等を営む中小企業への応援金	186件 55,800千円

## 4 情報発信

ホームページや広報紙, SNSなどの各種広報媒体や報道機関への情報提供などにより, 新型コロナウイルス感染症に関する最新の正確な情報を発信し, 感染防止策実践の呼びかけや, 時期に応じた注意喚起を実施することができた。

(主な発信内容)

### 市のメディアによる情報発信

- 市ホームページ, データサイト
  - ・ 専用ページを開設し, 市内での感染状況, 各種相談窓口, 生活者, 事業者向けの支援内容などを掲載
  - ・ 年齢別の陽性者数などをグラフで掲載
- 広報紙
  - ・ コロナの病状相談窓口やPCR検査の実施会場を掲載
  - ・ 感染拡大時には注意喚起など時期に応じた記事を掲載
  - ・ 臨時号を発刊(2回)
- 広報テレビ, 広報ラジオ
  - ・ 感染対策の啓発, ワクチン接種の勧奨などを放送
- 市SNS
  - ・ 感染者の発生状況など(毎日配信)
  - ・ 感染状況に応じた周知事項(市長メッセージなど)

### 報道機関に向けた情報発信

- 記者会見
  - ・ 毎月定例の市長記者会見において感染状況などを報告(コロナ禍初期においては市内で感染者が発生され次第会見を都度実施)
  - ・ 感染状況の急変時, 国, 県の行動制限時またはお盆, お正月などの長期休暇に伴う人流の変化が発生する際などは, 適宜会見を実施
- 情報提供
  - ・ 陽性者の状況, 年齢別の陽性者数など(毎日提供)
  - ・ 感染状況に応じて市民, 事業者に周知する事柄が発生した場合(市長メッセージなど)



# (参考) 市のメディアによる情報発信の事例

## ▼ 市長メッセージの動画配信(X : 旧Twitter)

福山市【公式】  
@cityfukuyama

【本市がまん延防止等重点措置の対象区域に指定されました】

市民・事業者の皆さまへの市長メッセージです。

- ▶ 市外との往来は最大限自粛
- ▶ 外出を半減、20時以降の外出は控えて
- ▶ 5人以上の会食は避けて
- ▶ Web会議やテレワーク等、柔軟な働き方を
- ▶ PCR検査の積極的な活用を



2022年01月07日 19:49

## ▼ 伝える項目を絞った発信(LINE)

新型コロナウイルス感染症  
本日(2/16)発表の新規報告者数

121人

感染者の状況は  
ここをタップ  
過去分は  
データサイトへ

※前日に確認された人数を発表しています

3・4・5回目の接種券を持っている方へ

予約なしで接種が受けられます

明日2月17日分

詳しくはここをタップ

種類	対象年齢	会場	受付時間
モデルナ (オミクロン株 BA.4/5対応)	12歳以上	中国新聞備後本社ビル	19時15分～20時30分

14:14

## ▼ ピクトグラムやバナーの設置(市HP)

本日(1月11日)発表の新規報告者数 **NEW**

1,311人

陽性件数・感染者の年代等の状況 **NEW**

[1月11日発表分 \[PDFファイル/628KB\]](#)

[1月10日発表分 \[PDFファイル/627KB\]](#)

[1月9日発表分 \[PDFファイル/793KB\]](#)

※全数届出の見直しに伴い、公表内容を簡略化しました。

(簡略化後の公表内容：陽性件数、感染者の年代、クラスターの発生状況)

※「市職員等の感染状況」は、クラスターの発生や施設の閉鎖など市民に影響が生じる場合に掲載いたします。

福山市 新型コロナウイルス感染症データサイト

感染者の発生状況・検査数などについてはこちら

トップメニュー

本市の対応	検査を受けたいとき	相談窓口
陽性となった方・濃厚接触者(接触者)と判断された方へ	生活支援・事業者支援	市民向け情報 高齢者・障害のある方 医療機関の皆さんへ
事業者向け情報 感染症対策のお願い 事業者別お知らせ	外国人の皆さんへ (がいきくじんの みなさんへ)	その他

ワクチン接種について



## 5 人権への配慮

全国的にも感染者、医療関係者やその家族等に対する不当な差別や誹謗中傷などの人権問題が存在する中で、人権啓発とともに、人権に関する相談窓口の周知をすることで人権意識の醸成を行うことができた。

### (1) 市民への情報発信

市の記者会見や市長メッセージの中で、人権への配慮として、感染者、医療関係者やその家族等に対する誹謗中傷の自制を市民に対して繰り返し呼びかけた

### (2) 多様な媒体を通じた人権啓発

市民の目に触れる機会を増やし、人権配慮について積極的に呼びかけた

広報ふくやまに人権擁護の取組記事を掲載

市ホームページの中に「新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について」という項目を設定

感染症対策ガイドラインの中に「人権擁護の取組」という項目を設定

### (3) 相談窓口の周知

新型コロナウイルス感染症に関連する不当な差別、偏見、誹謗中傷やいじめ等に対応する相談窓口の周知を図った

# (参考資料) 新型コロナウイルスワクチン接種 実施体制・経過

## ●実施体制

- 2021年(令和3年) 1月 保健予防課に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設け, 準備体制を整備  
4月 接種実施に備え, 「新型コロナウイルスワクチン接種実施本部」に移行

## ●初回(1・2回目)接種

- 2021年(令和3年) 3月 医療従事者への優先接種を開始 (県が体制整備)  
4月 高齢者施設等入所者への接種開始  
5月 高齢者(80歳以上)に事前案内はがき・接種券を送付, 市本庁舎に相談窓口開設, 集団接種開始  
6月 高齢者(80歳以上)の個別接種開始, 高齢者(65~79歳)に接種券送付, 集団・個別接種開始, 県の大規模接種会場(ビッグローズ)開設  
7月 12~64歳の基礎疾患を有する者等, エssenシャルワーカーなど優先接種対象者, 飲食・旅館・ホテル業従事者など早期接種対象者, その他の12歳以上の者に順次, 接種開始  
8月 市の大規模接種会場(2会場)開設, 夜間枠設定  
9月 集団接種会場に妊婦・パートナーへの優先枠設定  
2021年(令和3年) 10月 受験生等, 若年者優先枠, 予約不要の当日枠設定  
2022年(令和4年) 3月 小児(5~11歳)を対象に追加, 接種開始  
7月 武田社ノババックスワクチンの初回接種開始  
11月 乳幼児(6か月~4歳)を対象に追加, 接種開始 (乳幼児の初回接種は1~3回目)  
2023年(令和5年) 8月 オミクロン株対応2価ワクチンの初回接種開始  
9月 初回接種に使用するワクチンをオミクロン株(XBB.1.5)1価ワクチンに変更  
※努力義務等の対象を高齢者及び基礎疾患を有する者等に変更  
2024年(令和6年) 3月 特例臨時接種による初回接種終了(予定)

- 追加(3回目)接種
  - 2021年(令和3年)12月 初回接種を完了した18歳以上(2022年(令和4年)3月~12歳以上に拡大)に接種開始
  - 2022年(令和4年)2月 県の大規模接種会場(ビッグローズ)再開
  - 7月 武田社ノババックスワクチンの追加(3回目)接種開始
  - 9月 小児(5~11歳)を対象に追加,接種開始
- 追加(4回目)接種
  - 2022年(令和4年)5月 追加(3回目)接種を完了した60歳以上,18~59歳の基礎疾患を有する者等に接種開始
  - 7月 医療・介護施設等従事者を対象に追加,接種開始
  - 10月 追加(3・4回目)接種終了(制度上の終了は2023年3月)
- 2022年秋開始(追加3~5回目)接種
  - 2022年(令和4年)10月 初回接種を完了した12歳以上に,オミクロン株対応2価ワクチンを使用する追加接種開始
  - 2023年(令和5年)3月 小児(5~11歳)を対象に追加,接種開始
  - 5月 令和4年秋開始接種終了  
(基礎疾患のない小児のみ令和5年春開始接種期間中も継続実施)
- 2023年春開始(追加3~6回目)接種
  - 2023年(令和5年)5月 初回接種を完了した高齢者,5歳以上の基礎疾患を有する者等,医療・介護施設等従事者に,オミクロン株対応2価ワクチンを使用する追加接種開始  
※努力義務等の対象は高齢者及び基礎疾患を有する者等のみ
  - 9月 令和5年春開始接種終了
- 2023年秋開始(追加3~7回目)接種
  - 2023年(令和5年)9月 初回接種を完了した生後6か月以上を対象に,オミクロン株(XBB.1.5)1価ワクチンを使用する追加接種開始  
※努力義務等の対象は高齢者及び基礎疾患を有する者等のみ
  - 2024年(令和6年)3月 令和5年秋開始接種及び特例臨時接種終了(予定)